

### 【小野会長の挨拶】（概要）

社員総会の開会にあたり、小野会長から次のとおり挨拶した。

本日は、外務省から森美樹夫領事局長、足立秀彰海外邦人安全課長、並びに、進藤康治邦人テロ対策室首席事務官にご多忙のなか、ご来賓としてご臨席いただきました。心より御礼申し上げます。

先ほど、特別講演会におきまして足立海外邦人安全課長に『コロナ禍おける在留邦人の安全確保と外務省の役割』と題して、新型コロナウイルスの感染状況と変異株の拡大、各段階での新たな水際対策措置、在留邦人の一時帰国時のワクチン接種、コロナ禍の邦人犯罪被害やテロその他の脅威などについて、大変有意義なお話を頂戴しました。取り分け、足立課長のお話にもありました海外との往来再開は様々な分野の諸活動、我が国の発展にとって不可欠で、それに向け注力すべき課題と理解します。新たな感染症のみならずテロやミャンマーでの内乱、中東における紛争などいたるところで起きている臭い事態が起きている。気候変動や人為的な環境破壊など様々な原因での災害の発生も目立っています。

今、SDGs「持続可能な開発目標」ということで、2030年までに持続可能でより良い世界を目指するという国際社会共通の目標に向かって、各企業でも取り組んで行くものと思います。この目標を達成するための前提として、その基本は安全確保であることは間違いないものと思います。そういう意味で、官民一体となって海外安全対策の一層の強化に取り組むことが、我々の必須のテーマであると再認識する必要があると考えております。

当協会は、社員の皆様のご理解とご協力のもとに、外務省の多大なご支援をいただきながら、昨年も、官民連携の橋渡しとして一定の成果を上げてまいりました。本総会の開催にあたりこの場をお借りして、御礼申し上げてご挨拶とさせていただきます。

### 【ご来賓の挨拶】（概要）

次いで、外務省森美樹夫領事局長から概要以下の挨拶を頂戴した。

只今、ご紹介いただきました外務省領事局長の森でございます。本日は世界の最前線で活躍されている企業、団体の方々に前にこうしてご挨拶をする機会をいただき感謝申し上げます。また、海外邦人安全協会の今次総会にお招きいただき御礼申し上げます。

私は、本年1月に領事局長を拝命いたしまして、それ以来、邦人保護・海外在留邦人の安全確保、或いは、外国人の出入国といった本来の領事業務に加えて、本日の足立課長の講演にもあったと思いますが、私にとって、新型コロナウイルス感染症のグローバルな感染拡大への対応といったものが、非常に大きな優先課題、優先事項となってきています。残念ながらパンデミックは依然とし続いています。また、昨年12月以降は、次々と出現する変異株の流行に伴って国内外のリスクが増々高まっています。

政府におきましては、このような中にあっても、在留邦人の保護を一層きめ細かく行うと共に、感染者の国内への流入を防ぐために柔軟かつ機動的な水際対策措置を実施してまいります。ワクチンの接種が普及し感染状況が落ち着いたあかつきには、国際的な人の往来が再び活発になることが求められます。往来の再開にあたっては、ビジネス上のニーズを把握しながら国内外の感染状況等を踏まえ、感染再拡大の防止と両立する形でこれを進めていくことが重要になります。

現在、159か国・地域に対して感染症危険情報レベル3、即ち、渡航を止めてくださいとする「渡航中止勧告」を発出しております。外務省におきましては、今後とも感染症危険情報を柔軟かつ機動的に運用していきたいと考えております。また、国内におけるワクチン接種の動きと連動する形で、先週、茂木敏充外務大臣から在留邦人の一時帰国時のワクチン接種について発表いたしました。それぞれの居住国でワクチン接種を受けることに懸念をお持ちの在留邦人の方が多数おられる中、先般、海外在留邦人の方々の意向調査を実施いたしましたところ、一時帰国してでも日本国内でワクチン接種を希望したいという回答が多数寄せられました。この調査結果を受けて8月1日から在留邦人向けのワクチン接種を日本で実施することにいたしました。ワクチンの接種を受けたことの接種証明の準備も迅速に進めていきたいと考えています。

外務省は海外に渡航される方々に向けて海外安全ホームページに様々な情報を掲載しております。在留邦人の方々には領事メールの形で在外公館から適時に情報が提供されます。この機会に、是非、海外渡航の際の「たびレジ登録」或いは「在留届の提出」を改めてお願いしたいと思います。新型コロナウイルス感染症が人々の関心を引く中であっても、世界各地で、地震、サイクロンといった自然災害、デモや暴動が頻発しております。また、国家間或いは国内の紛争、クーデターも止むことがありません。企業の海外展開にとって、こうした従来からの脅威が大きなりスクになっていることに変わりはありません。加えて、アジア系住民に対するヘイトクライム、詐欺事件などのような人々の不安につけ込む犯罪が各国で新たに報告されているところです。コロナ禍における新たなリスクの形としてこうしたことにも注意する必要があります。

本日、足立課長の講演にもあったとおり、テロのリスクも引き続き存在します。本年4月、フランスでのテロでは警察署の入口で女性職員が男に刃物で襲われ死亡しました。特に欧州では、最近でも計画中のテロ容疑者の逮捕が複数報告されているところです。国際的な人の往来の再開が見込まれる中で、テロのリスクは、今後高まっていく恐れもあり警戒が必要です。感染症とテロの複合的リスクの対応については、本日お手元にお配りしている、先般、外務省が対外発表したゴルゴ13の海外安全対策マニュアルの増補版も是非お役に立てていただければと思います。

海外に渡航・滞在する邦人の保護は外務省の重要な責務です。茂木外務大臣も常々その旨を公の場で繰り返し申し上げております。外務省では、今後とも企業の海外展開に資する施策を実施していく考えであり、これからも皆様から率直なご意見を頂戴しつつ、その努力を続けてまいりたいと思います。本日はご清聴ありがとうございました。

(了)